



高齢者医薬品適正使用推進事業 最終報告



一般社団法人
宝塚市薬剤師会

令和5年4月28日

1.宝塚市薬剤師会の概要

薬剤師会概要	
名称	一般社団法人 宝塚市薬剤師会
代表者	会長 村上 史恵
住所	兵庫県宝塚市伊子志3-8-20 馬殿第一ビル201
設立	昭和29年(1954年)設立
会員数	会員数176名 薬局99店 (令和4年(2022年)9月現在)



1.宝塚市薬剤師会の取り組み

地域連携研究会	宝塚市地域包括ケアシステム研究会 (3つの若葉を育てる会：市内医療従事者団体共催) 宝塚市薬剤師地域連携研究会 (宝つーかーの会：薬剤師会・医師会共催)
薬剤情報の共有	診療情報提供書・服薬情報等提供書 退院時薬剤情報提供書・入院時薬剤情報提供書 吸入指導報告書
行政事業との連携	(県)服薬情報通知事業：広域連合-医師会-薬剤師会 (市域) 通知事業実態調査 ：市立病院中心に医師会-薬剤師会と 協働で現場の取り組み内容を評価 ⇒薬剤調整方法について複数回の研修会実施
市民・多職種への 啓発活動	いきいき百歳体操講演会（市役所高齢福祉課） 地域包括・デイサービス等への出張講演 薬と健康の週間講演会

通知事業
(国保保健事業
服薬適正化勧奨事業)

**医療機関や薬局にかかるとき、
この『お知らせ』を持っていきましょう。**

この「お知らせ」は、あなたが服用(使用)されていた薬の情報を記載しています。複数の医療機関を受診されている場合、一つの医療機関では、他の医療機関からどのような薬があなたに処方されているのか正確に把握できません。このため、それぞれの医療機関から同じ成分の薬が重複して処方されてしまうことがあるかもしれません。医師や薬剤師にあなたが服用(使用)している薬剤全てを知ってもらうため、医療機関や薬局にかかるときに、この「お知らせ」とお薬手帳を持っていきましょ。

なお、治療の必要性から医学的な判断により、同じ成分の薬などが処方されている場合がありますので、ご自身の判断で服用を中断せず、医師や薬剤師に相談してください。

STEP 1

この「お知らせ」を
医療機関や薬局に
行くときに持って
いきましょう。



STEP 2

医師や薬剤師に
お薬の確認をして
もらいましょう。



お薬手帳も忘れずに!

医療機関や薬局を受診する際には、お薬手帳をその都度提出しましょう。その際、お薬手帳を医療機関ごとに使い分けたりせず、1冊にまとめたほうが診察する医療機関も過去に処方された薬や服用歴を確認できるので安心です。



サンプル 太郎

お薬情報の「お知らせ」

番号 9999・9999

[illegible]

この明細について/使い方

2022年4月時点で処方された情報で通知書を作成しております。

この明細は、宝塚市が把握している2022年4月時点で、あなたに処方された医薬品について掲載しています。

(現在、服用している薬剤と異なっている場合があります)。医療機関や薬局へ持って行き、お薬の重複や飲み合わせなど確認してもらいましょう。
[NO]欄の番号は、上記記載の受診した医療機関の[NO]欄の番号です。

No	薬剤名	数量	日数	調剤日	剤型
1	サインバルタカプセル20mg	2 カプセル	18	4/21	内服
	スピロノラク톤錠25mg「トローフ」	2 錠	18	4/21	内服
	フロセミド錠20mg「NP」	2 錠	18	4/21	内服
	アゾセミド錠60mg「JGJ」	1 錠	9	4/21	内服
	ミヤBM錠	3 錠	18	4/21	内服
	ネキシウムカプセル20mg	1 カプセル	18	4/21	内服
	プリンペラン注射液10mg 0.5%2mL	10 管	1	4/21	注射
	リノロサル注射液4mg(0.4%)	10 管	1	4/21	注射
2	ソルデム3A輸液 500mL	6 袋	1	4/21	注射
	ヘパリンNaロック10U/mLシリンジオートツカ10mL 100U	10 筒	1	4/21	注射
	ヘパリン類似物質油性クリーム0.3%「ニットー」	50 g	1	4/21	外用
	サインバルタカプセル20mg	2 カプセル	14	4/7	内服
	スピロノラク톤錠25mg「トローフ」	2 錠	14	4/7	内服
	フロセミド錠20mg「武田テバ」	2 錠	14	4/7	内服
	アゾセミド錠60mg「JGJ」	1 錠	6	4/7	内服
	ミヤBM錠	3 錠	14	4/7	内服
3	ネキシウムカプセル20mg	1 カプセル	14	4/7	内服
	ヘパリン類似物質油性クリーム0.3%「ニットー」	50 g	1	4/7	外用
	エスワンタイホウ配合OD錠T25 25mg(テガフル相当量)	4 錠	28	4/18	内服
	4 アロキシ静注0.75mg 5mL	1 瓶	1	4/18	注射
	ソル・メドロール静注用500mg (溶解液付)	1 瓶	1	4/18	注射
	大塚生食注 50mL	2 瓶	1	4/18	注射
	生食注シリンジ「NP」 10mL	1 筒	1	4/18	注射
	ソルアセトF輸液 500mL	2 袋	1	4/18	注射
4	ドセタキセル点滴静注20mg/1mL「ヤクルト」	3 瓶	1	4/18	注射
	シスプラチン点滴静注10mg「マルコ」 20mL	4 瓶	1	4/18	注射

多剤服用対象高齢者 通知事業実態調査

- 県後期高齢者医療広域連合より『服薬情報通知書作成等業務』として、市内在住の75歳以上で多剤服用患者あるいは重複投与患者の個人宛に、「お薬情報の『お知らせ』」という通知書が発送(2019.8、2020.2、9、2022.9)
- 通知書を受け取った医療機関が実際どのように対応したか医師会・薬剤師会・病院で検討
- 患者が通知書を薬局に持参された際、どう対応されたかを本調査表に記載し、市立病院薬剤部へ報告・薬剤部が集計

通知事業実態調査表										別紙3 (2019.9作成)	
施設名				記入者				☐ 医師 ☐ 薬剤師			
患者年齢		歳	身長/体重	cm / kg	☐ 不明の場合はチェック		イニシャル	.	性別	M・F	
記入日		年 月 日		介入について							
患者情報	患者様の現在受診している医療機関は何件？			通知書により別医療機関も含め、服用薬の全体像が確認できたと思いますが、問題となる処方内容はありませんか ☐ 重複(同成分薬) ☐ 重複(同効薬) ☐ 処方意図不明 ☐ 服薬状況不良 ☐ 残薬 ☐ 用法・用量 ☐ 相互作用 ☐ 薬理作用的問題 ☐ 患者希望(漫然投与等) ☐ 副作用 ☐ その他()							
	利用している保険薬局数は何件？										
	通知書持参時の服薬状況は良好ですか 1-良好 2-不良 3-不明										
	服薬管理者は？ 1-本人 2-家族 3-不明										
	ここ2〜3カ月での体重の減少は？ 1-あり 2-なし 3-不明										
	血液検査の確認はしましたか？ 1-確認済み 2-未確認										
介入結果	通知書に記載されている薬剤数			2 通知書に対して何らかの介入を行いましたか ☐ はい ☐ いいえ							
	(内服)										
	(内服以外)										
介入結果	処方意図が不明な薬剤は何種類ありますか			どのような介入ですか ☐ 重複(同成分薬) ☐ 重複(同効薬) ☐ 処方意図不明 ☐ 服薬状況不良 ☐ 残薬 ☐ 用法・用量 ☐ 相互作用 ☐ 薬理作用的問題 ☐ 患者希望(漫然投与等) ☐ 副作用 ☐ その他()				それはなぜですか ☐ 介入不要と判断したため ☐ 他医療機関の処方のため ☐ 減薬の方法が分からないため ☐ 時間の余裕がないため ☐ マンパワー不足のため ☐ 処方介入に必要な検査値等がないため ☐ その他()			
	対応後の薬剤数										
	(内服)										
	(内服以外)										
	介入にあたり他の医療機関と連携をしましたか(複数回答可:1,2) 1-はい(医院/病院) 2-はい(保険薬局) 3-いいえ										
当患者の処理に費やした時間は？ (※服薬説明等を含む対応、開会等に要した時間がまたがる場合は各日に費やした時間の合計)			分			3 通知事業に対する御意見 ☐ 必要 ☐ 不要 ☐ わからない ☐ お薬手帳で十分					

お手数をおかけしますが、記入が終わり次第、患者様が持参された「お薬情報の『お知らせ』」のコピーを添付のうえ、宝塚市立病院薬剤部までFAX下さい
(FAX: 0797-87-1474)

通知事業後（2019年） 多剤処方が改善された該当数及び割合

6種類以上の内服薬が処方されていたものについて、2種類以上減少
さらに調剤についてはその状態が4週間継続した場合に算定



2.業務実施方針

ポリファーマシー対策活動の現状(事業前)

- 通知事業の実施
- 薬局アンケートの実施 （令和4年6月）

対象：市内処方せん応需保険薬局（会員薬局）

対象データ：昨年度について（令和3年4月～令和4年3月）

薬局アンケート

令和4年6月実施

対象：市内処方せん応需保険薬局
(会員薬局)

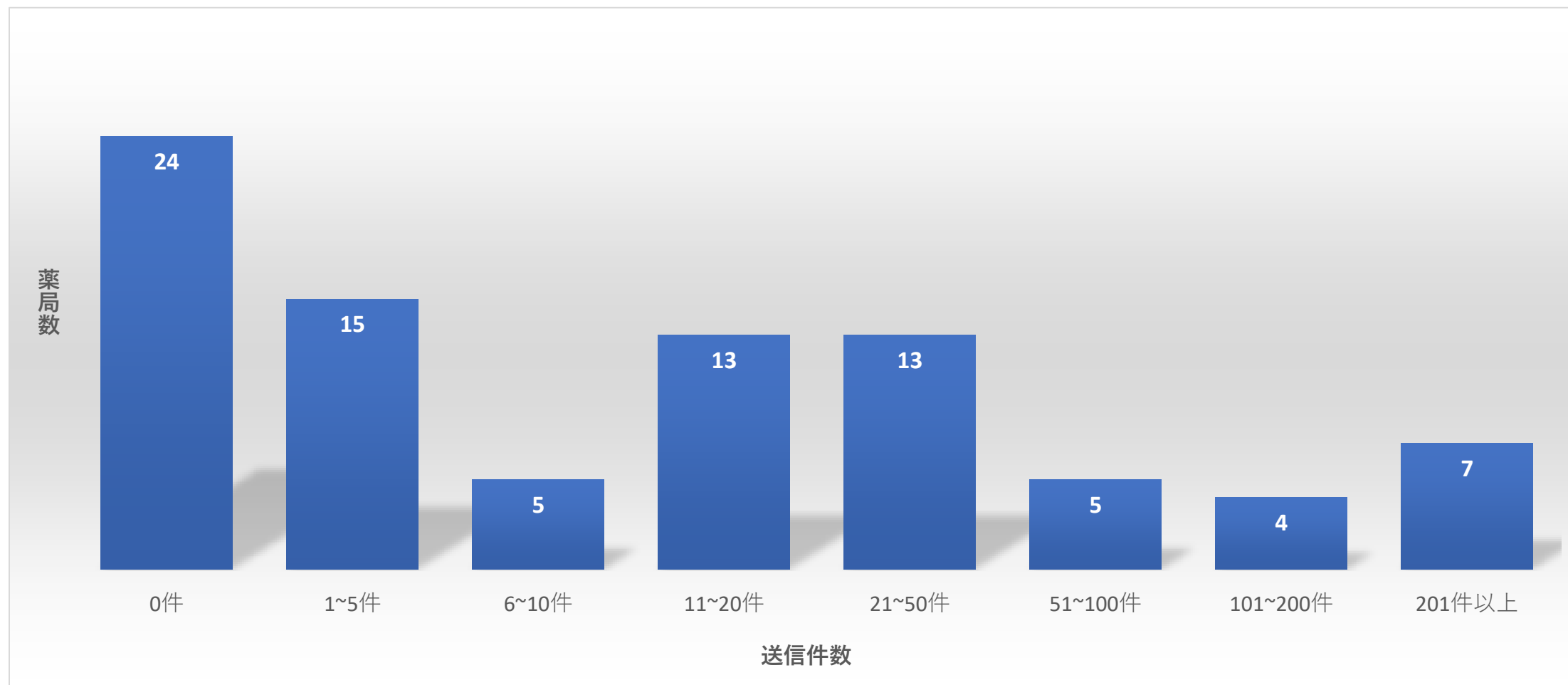
対象データ：昨年度について
(令和3年4月～令和4年3月)

回答数：86軒

服薬情報等提供書の送信件数（医療機関への情報提供）	件
服薬情報等提供料1（30点）の算定件数	件
かかりつけ薬剤師の条件を満たしている薬剤師数	人
かかりつけ薬剤師指導料を算定している患者数（実人数）	人
処方提案を行った件数	件
処方提案を行った件数のうち処方変更となった件数	件
重複投薬・相互作用防止加算の算定を行った件数	件
外来服薬支援料の算定を行った件数	件
服用薬剤調整支援料1（125点）の算定件数	件
服用薬剤調整支援料2（100点）の算定件数	件

服薬情報等提供書送信件数

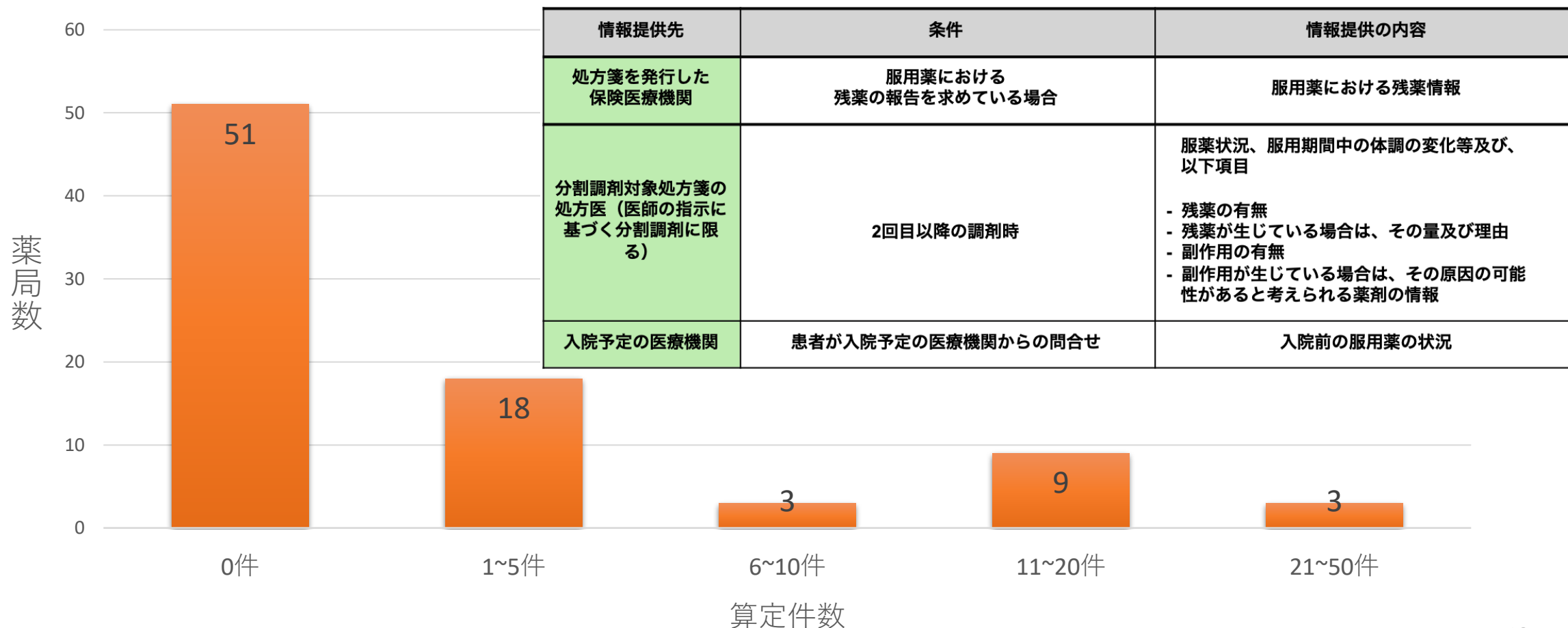
昨年度（令和3年4月～令和4年3月）について 回答数：86軒



服薬情報等提供料1の算定件数

昨年度（令和3年4月～令和4年3月）について 回答数：84軒

・服薬情報等提供料1 30点（保険医療機関から情報提供の求めがあった場合に算定・月1回）



宝塚市薬剤師会の現状（事業前）

- 通知事業が実施されたが、対象の薬局が少なかった
（2019年2～12月報告軒数 クリニック5軒、薬局18軒）
- 服薬情報等提供書送信件数0の薬局が2割強（24軒）

→病院と薬局の連携しやすい環境を作り、
市域全体で患者（特に高齢患者）を支える仕組みを
医療機関全体として作る術を皆で考え実行していく

2.業務手順書における課題確認と課題に対する実施事項

業務手順書における課題	実施事項
1.人員不足で、対象患者の抽出や、検討する時間を作れない	・入院時情報提供書による情報共有 ・服薬情報等提供書を送信しやすい環境
2.多職種連携が十分でない	・入院時情報提供書による情報共有 ・お薬手帳カバーの活用 （かかりつけ医・担当ケアマネがわかる） ・多職種・市民を交えた取り組み
3.お薬手帳がうまく活用されていない	・お薬手帳カバーの活用 ・多職種・市民を交えた取り組み
4.ポリファーマシーであるかを判断することが難しい	・服薬情報等提供書を送信しやすい環境
5.医師が自科以外の処方薬を調整することが難しい	・入院時情報提供書による情報共有
6.病態全体をとらえることが難しい	・入院時情報提供書による情報共有
7.見直し後の処方内容をかかりつけ医へフィードバックする体制が構築されていない	・服薬情報等提供書を送信しやすい環境
8.患者の理解が得られない	・お薬手帳カバーの活用（かかりつけ薬剤師） ・多職種・市民を交えた取り組み

医師との関わりについて

- 手術・検査目的で入院の際は、病院からの指示で中止する必要がある薬、中止期間などについては、保険薬局からクリニックへ再度情報共有しておくことで、安全性を担保している
(通常、入院予定の病院とクリニック間の診療情報提供書により情報共有できているはずの内容が漏れることを補完している)
- ：院内処方されるクリニックには、かかりつけ薬局から連絡し、服薬情報を提供して頂いている（かかりつけ薬局へ情報集約）

本取り組みは、薬剤師会から医師会へ協議・説明済み

入院時情報提供書による情報共有

- 入院予定の病院から情報提供依頼
- かかりつけ医に中止薬の連絡
- かかりつけ薬局が持参薬の調整・病院へ持参薬の情報提供

確認日: 2022 年 4 月 1 日

病院名 宝塚市立病院 御中

入院時薬剤情報提供書

入院予定日	4月3日	診療科	〇〇科
カネ 患者氏名	カネ 患者氏名	患者ID	〇〇〇〇
		生年月日	昭和〇年〇〇月〇日

※ 日数は揃えず、実数値の数を記載しています。
 ※ 薬剤の欄が足りない場合は、本用紙をNo.1、No.2として複数使用します。

現在服用中の薬剤情報(お薬手帳コピー貼付可)

	薬剤名	1日用量	用法	確認日の 残日数	入院日以降 の残日数
①	アチネジン錠 50mg	2錠	分2 朝夕食後		
②	ドバコール配合錠 L100	3錠	分3 朝昼夕食後		
③	レキップ OR 錠 2mg	3錠	分1 朝食後	14	12
④	ドバコール配合錠 L50	2錠	分2 11時と16時		
⑤	ベタニス錠 50mg	1錠	分1 朝食後		
⑥	チネリブ錠 20mg	1錠	分1 朝食後		
⑦	グリメヒリド錠 1mg「日医工」	1錠	分1 朝食後		
⑧	ミカルヂス錠 20mg	1錠	分1 朝食後	21	19
⑨	ネキシウムカプセル 20mg	1cap	分1 夕食後		
⑩					
⑪					
⑫					
⑬					
⑭					
⑮					

処方元・薬局名	(例) ①～④ A 医院、B 薬局 ⑤～⑨ C クリニック、D 薬局
中止薬名	なし
特記事項	

薬局名	〇〇薬局
薬局住所	〇〇市〇〇町〇-〇
T E L	〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇
F A X	〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇
担当薬剤師	〇〇〇〇

服薬情報等提供書を送信しやすい環境

- 地域包括ケアシステム研究会等により、多職種と顔が見える関係を構築
- 服薬情報等提供書様式変更により当会ホームページ上から直接入力し印刷可能に
- 病院薬剤部と市内保険薬局との薬薬連携研究会を開催

別紙 2

↑ FAX:

御中 報告日: 年 月 日

服薬情報提供書（トレーシングレポート）

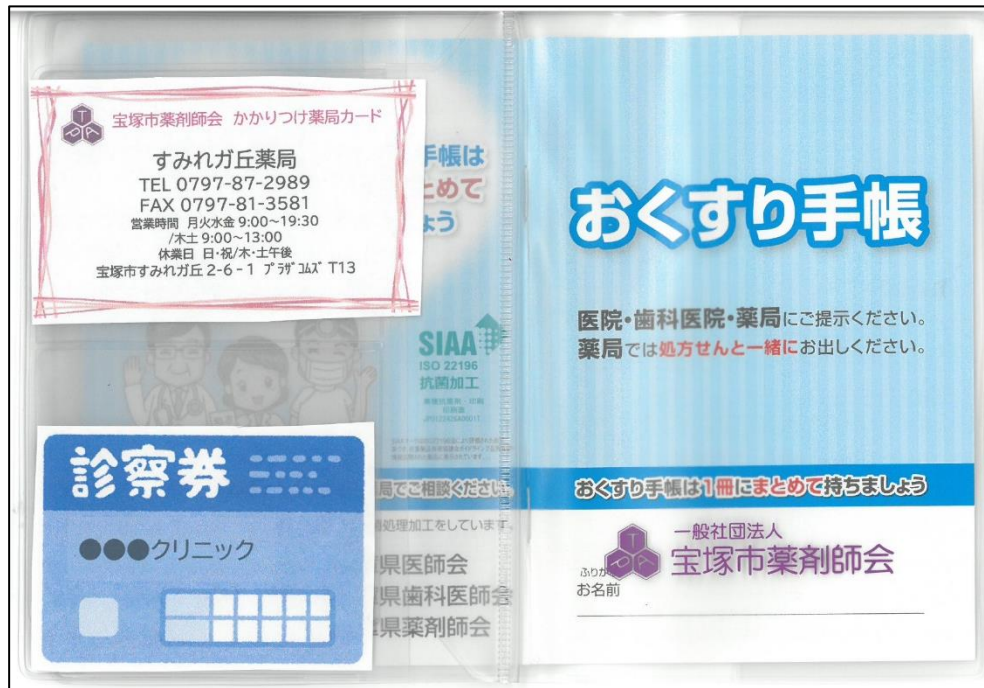
担当医	科	保険薬局 名 称
	先生 御机下	所在地
患者 ID:	電話番号:	
患者名:	FAX 番号:	
		担当薬剤師名:
この情報を伝えることに対して患者の同意を 得た。 得ていない。		
患者は主治医への報告を拒否していますが、治療上重要だと思われるので報告致します。		

処方せんに基づき調剤を行い、薬剤交付致しました。
下記の通り、ご報告致します。ご高配賜りますようお願い申し上げます。

所見

薬剤師としての提案事項（返信: 要 不要)

お薬手帳カバーの活用



- かかりつけ薬局として「薬局カード」等を入れて、かかりつけの認識をしてもらう
- かかりつけ医・担当ケアマネをわかりやすくし、多職種との連携をしやすい。
- お薬手帳を1冊にまとめ、残薬の確認をしやすい
- お薬手帳を介して、他職種へのフィードバック

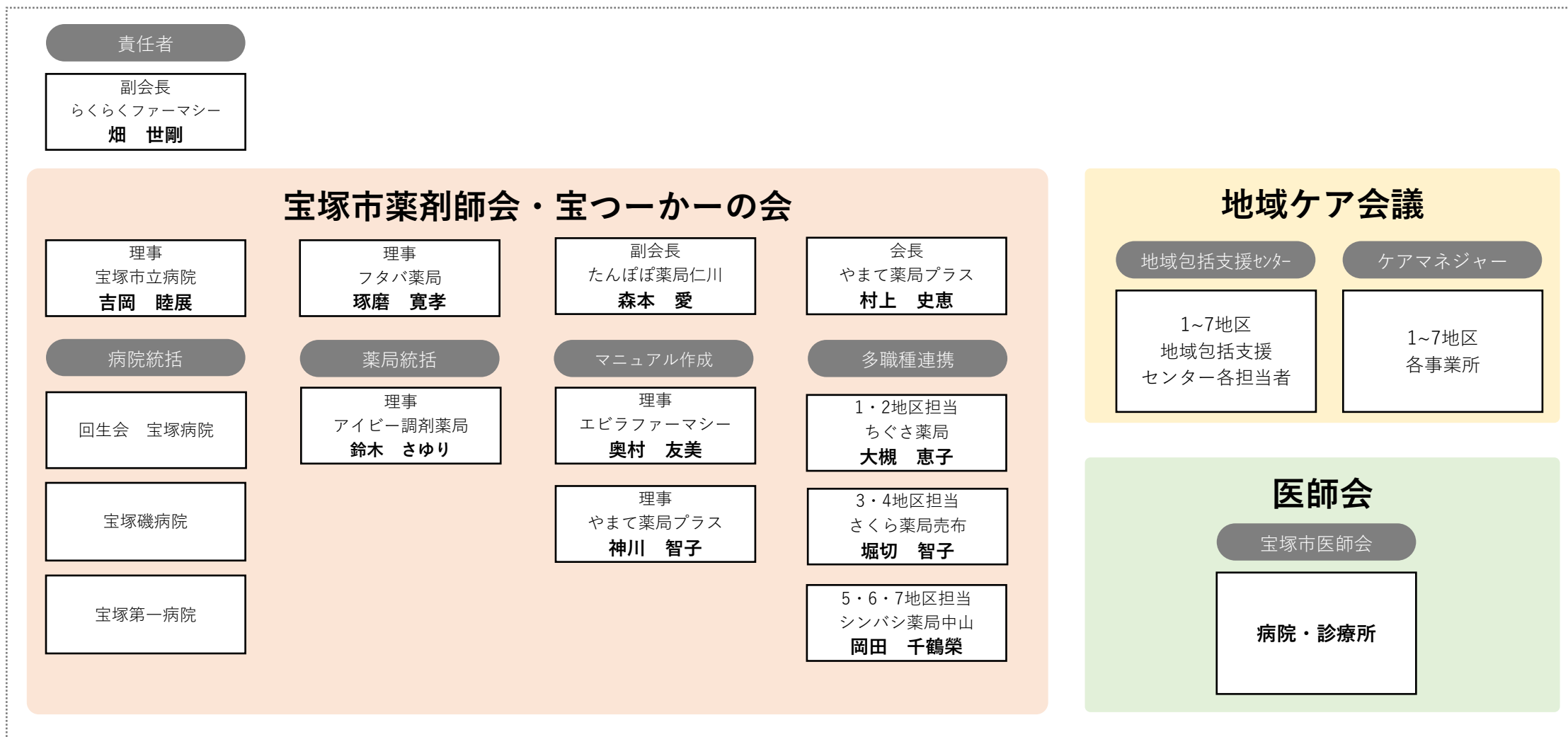
3.作業計画・スケジュール

- 作業体制
- 2. の作業スケジュール

3.作業計画・スケジュール

各種作業	2022年									2023年			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
研修会	4/2 3薬局				8/2 4多職種			11/2 6多職種	12/1 5多職種	1/29 薬局	2/16 多職種		
入院時服用薬剤調整・情報提供依頼書 事業実施													
お薬手帳カバーマニュアル作成 お薬手帳カバー配布				7/1 4委員会			配付開始						
服薬情報等提供書様式変更		変更											
薬局アンケート			実施 集計										実施 集計
中間報告								11/30					
最終報告													4/28

3.作業体制



4.成果

各種作業	備考	時期・期間	進捗
研修会	薬局向け研修会 多職種向け研修会	令和4年4月23日実施 令和5年1月29日実施 令和4年8月24、26、30日実施 令和4年11月26日、12月15日実施 令和5年2月16日実施	完了
入院時服用薬剤調整 情報提供依頼書 事業実施	事業実施	契約締結日から	実施中
お薬手帳カバーマニュアル作成 お薬手帳カバー配布	マニュアル作成準備委員会 お薬手帳カバー配布	令和4年7月14日実施 令和4年10月～配布	完了 配付中
服薬情報等提供書様式変更	PDFフォーム作成	令和4年5月実施	完了
薬局アンケート送付・集計	アウトカム測定用の事前アンケート送付・集計	令和4年6月実施	完了
中間報告	入院時情報提供依頼数等集計	令和4年11月30日実施	完了
最終報告	アウトカム測定用のアンケート送付・集計	令和5年4月予定	

高齢者医薬品適正使用のための 多職種・市民を交えた取り組み

- ・ **地域ケア会議**

地域包括支援センター職員、地域の介護従事者と残薬に関する意見交換

- ・ **服薬情報等提供書に関する研修**

病院薬剤師、および地域連携薬局・専門医療機関連携薬局薬剤師との情報共有

- ・ **地域包括ケアシステム研究会での研修会**

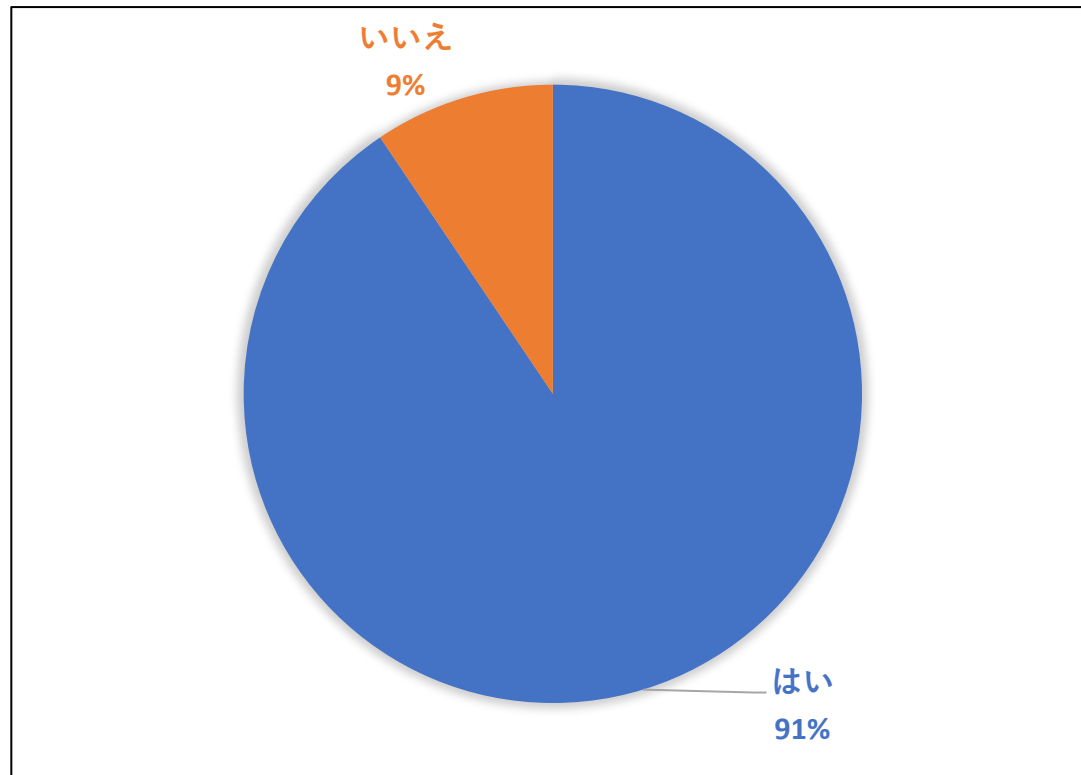
ICTの活用、および高齢者の薬の適正使用に関する意見交換

- ・ **その他 多職種や市民に医薬品適正使用を知ってもらうための研修会**

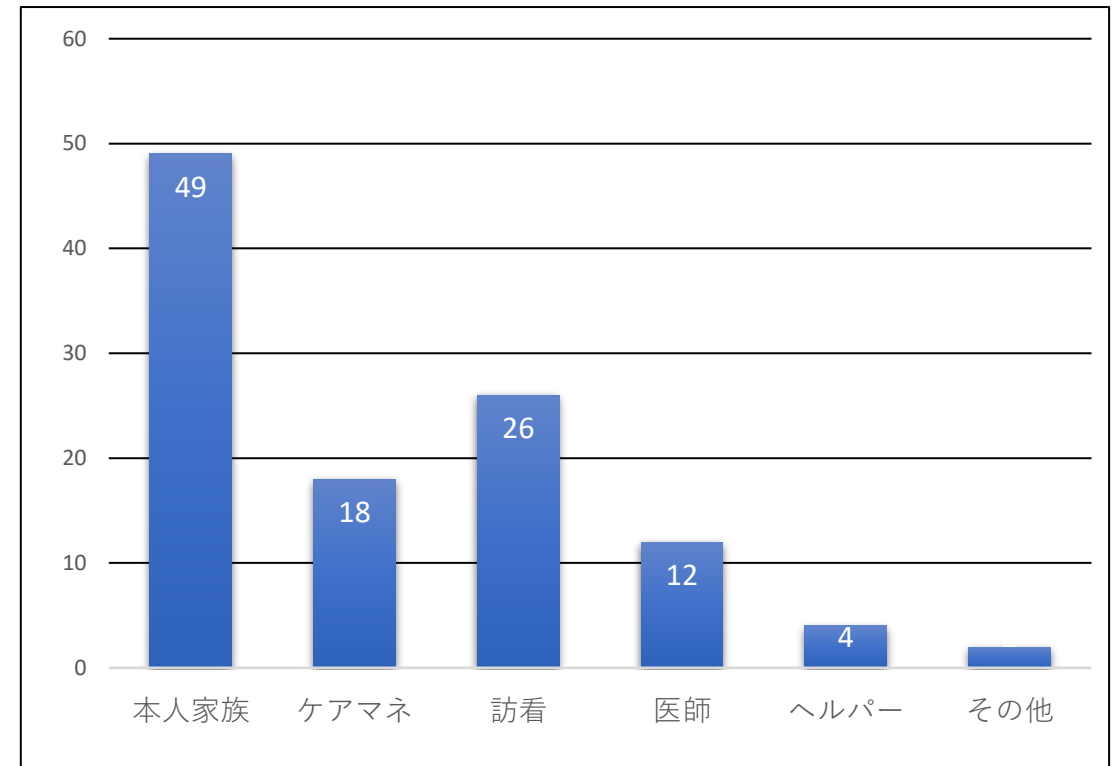
地域ケア会議アンケート

回答数:53

外来患者で実際、残薬を持ち込んで
対応したことがあるか？



残薬の問い合わせをどの職種から
受けたことがあるか？



服薬情報等提供書研修会1

第 34 回 宝塚市薬剤師地域連携研究会



宝つーかーの会



日時：令和4年11月26日(土) 15:00~17:00

場所：宝塚市立病院 北棟 講堂1(残り10名)

または zoom を利用した Web 配信【ハイブリッド開催】

講演1 宝塚病院について ～質問にもお答えします～

回生会 宝塚病院 薬剤部 全 東学 先生

情報提供「HPKI カードについて」

講演2 宝塚だからできる！みんなでやろう！服薬情報提供

① これまでの薬業連携の取り組みについて

宝塚市薬剤師会 理事 琢磨 寛孝 先生

② 服薬情報提供書・トレーシングレポート作成について

宝塚市薬剤師会 副会長 畑 世剛 先生

全体協議

進行 宝塚市立病院 薬剤部長 吉岡 陸展 先生

- 11月26日(土)午後開催
- 宝塚市医師会会長・薬剤師64名参加



服薬情報等提供書研修会2

★ 宝塚市薬剤師地域連携研究会 ★

～ 第16回ヤングつーかーの会 ～

病院・薬局の若手薬剤師を講師に招き、今回は宝塚市内でのトレーシングレポート運用と薬局での症例について学習ができる勉強会を開催します。至らぬ点もあるかと思いますが、温かい目で見守っていただきたいと思います。年齢制限はもちろんありませんので、ぜひ気軽にご参加ください！

日時：令和5年1月29日(日) 10:00～11:30

場所：zoom ミーティングを用いた Web 配信

トレーシングレポートを提出してみよう！

実際にあつた症例の検討会

(専門医療機関連携薬局・地域連携薬局)

- 1月29日(日)午前開催
- 薬剤師31名参加
- 当会推奨の服薬情報等提供書
- 提出した服薬情報等提供書の流れ
- 実際の症例 「服薬フォローと副作用」

多職種での研修会1

宝塚市地域包括ケアシステム研究会



宝塚市地域包括ケアシステム研究会
3つの若葉を育てる会

第64回 研修会

ICTを活用したチームの コミュニケーション



馬淵さん
(当会世話人)

今井さん

六甲学院先輩後輩！

講師：
今井 信行さん (いまい内科クリニック)

mina-to-wa (阪急阪神みなとわ) について
講師：三浦 裕二さん (阪急阪神みなとわ)

令和4年12月15日(木) 19:00-21:00
zoom を利用したオンライン研修 (定員 100 名/要申し込み)



- 12月15日(木)夜開催
- 多職種45名・薬剤師15名参加
医師、歯科医師、看護師、ケアマネ、ヘルパー他
- 介護事業者、医療機関、患者家族との
情報共有
- 在宅訪問における連携ツールについて

多職種での研修会2

訪問薬剤管理指導のための研修会
宝塚市地域包括ケアシステム研究会
3つの若葉を育てる会
第65回 研修会

高齢者の多職種で
薬の適正使用を考えよう

“宝つーかー”
薬剤師トリオで
お送りします！

吉岡 睦展さん（宝塚市立病院 薬剤部）
岡田 千鶴榮さん（シンバシ薬局 中山寺店）
畑 世剛さん（薬局らくらくファーマシー）

研修申し込みはこちらから
<https://forms.gle/TAx5zRXmMbCNKjW29>

令和5年2月16日（木）19:00-21:00

地域包括ケアシステム研究会

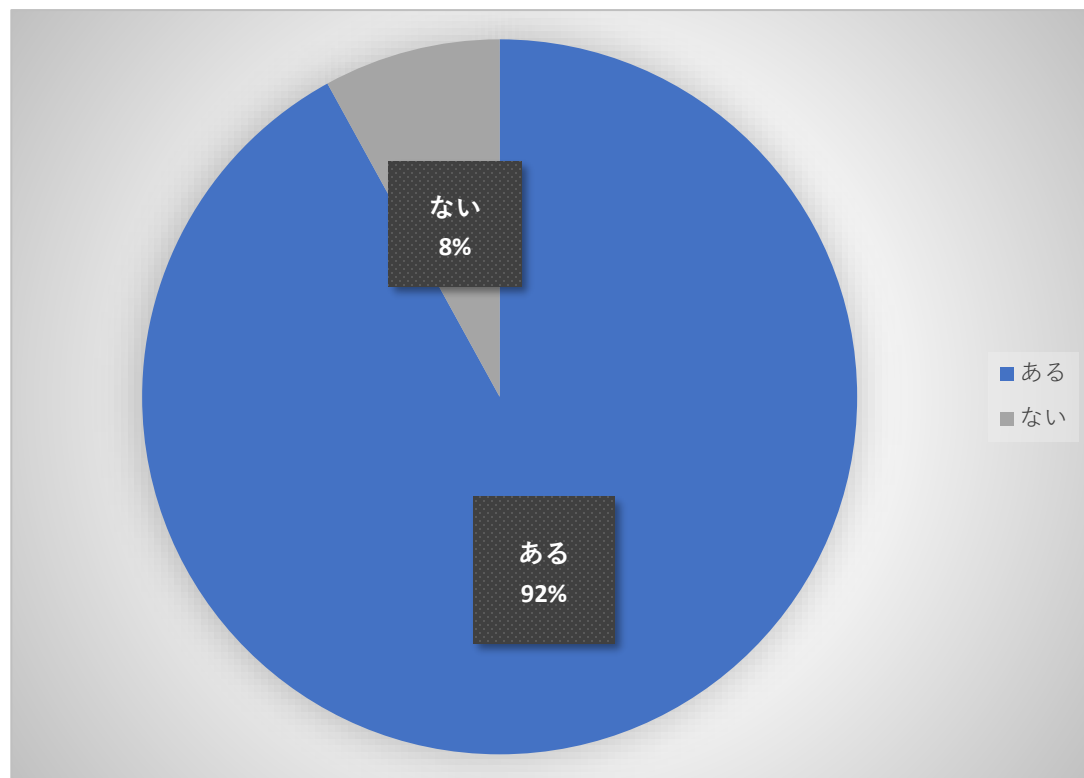
- 2月16日(木)夜開催
- 多職種61名（薬剤師27名）参加
医師、歯科医師、看護師、ケアマネ、ヘルパー他
- 事例検討・減薬後フォロー
- 薬剤師と多職種との連携(退院支援)
- 在宅医療における多職種連携の好事例
- 参加者にアンケートを実施

宝塚市地域包括ケアシステム研究会

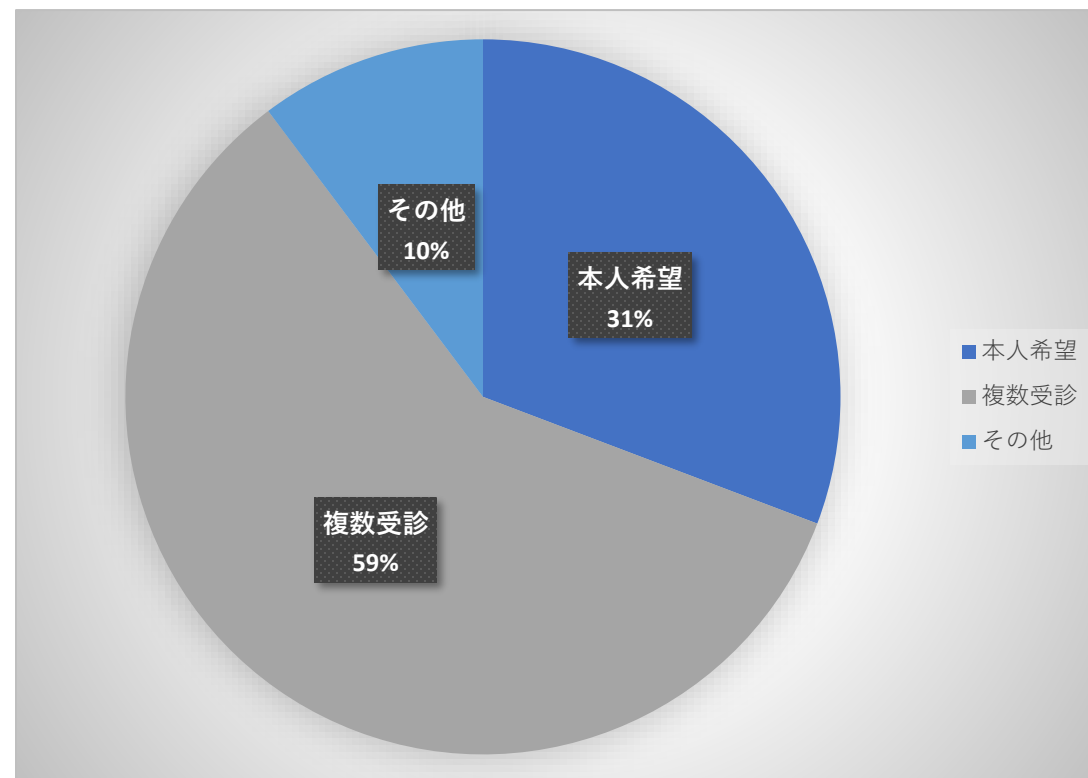
多職種アンケート1

回答数:26

ポリファーマシーと感じた事例はありますか？

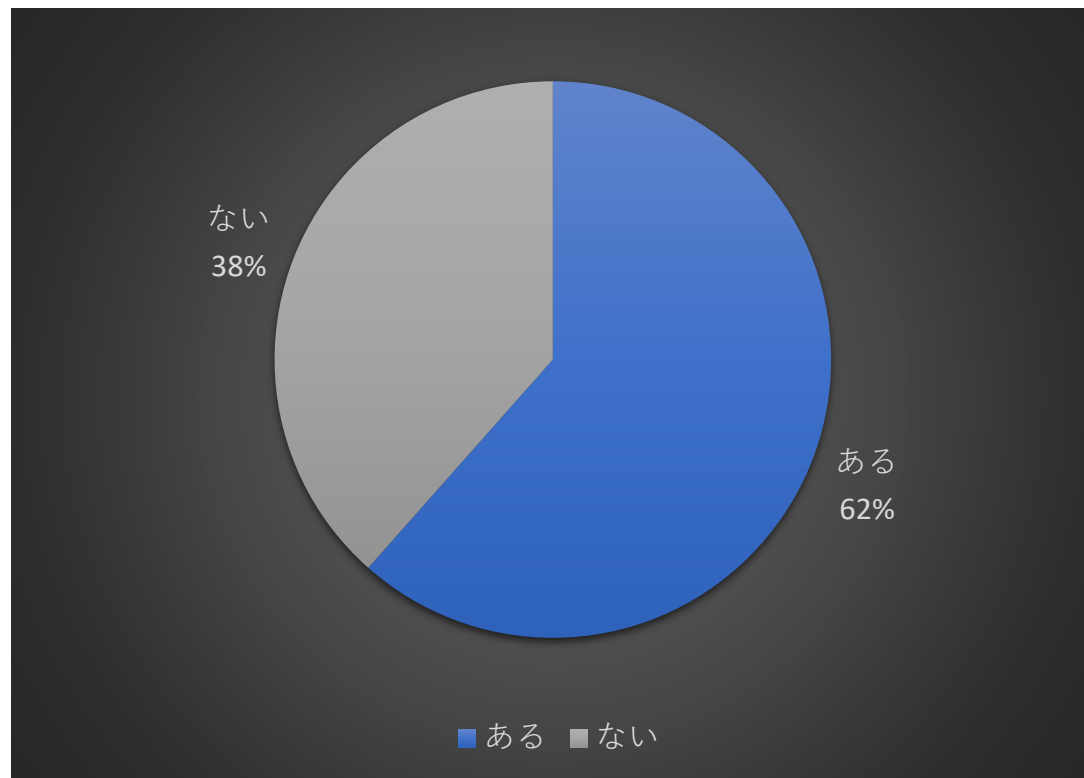


ポリファーマシーの原因は何があると思いますか？（複数回答可）

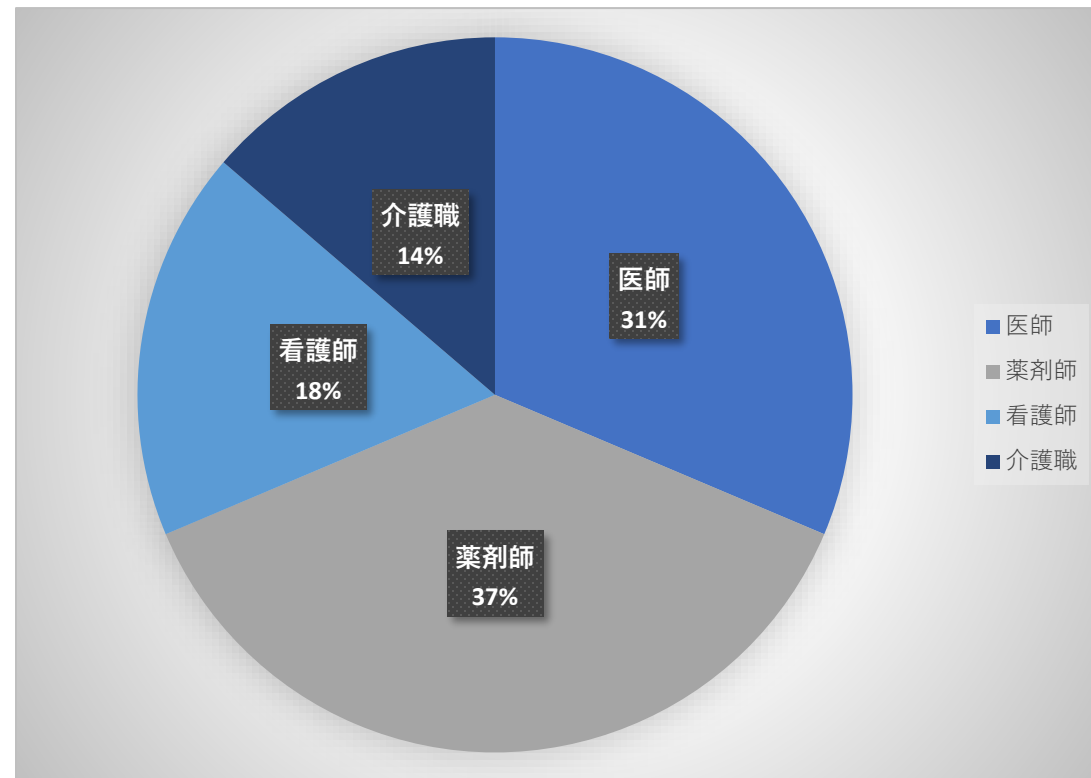


宝塚市地域包括ケアシステム研究会 多職種アンケート2

他職種への相談によりポリファーマシーが解決したことはありますか？



今回の多職種研修会で、ポリファーマシーの相談をどなたにしようと思いますか？（複数回答可）



宝塚市地域包括ケアシステム研究会 多職種アンケート3

ポリファーマシーの解決策はどのようなものがありますか？

- 他職種による連携、担当者会議などを通じて利用者の状況を知ること
- 今は全然症状がないのに漫然と投与されていて、
 - ①患者自身が何の薬か認識せず飲んでいる場合
 - 受診時に、本人がDrに継続が必要かどうか聞いてみるように勧めて、本人が理解・納得の上中止する
 - ②本人が認識しているが、Drに言いにくい場合
 - 本人の同意を得て、専門職が疑義照会や情報提供で中止してもらう
 - 薬剤師が居宅に行かず、看護職や介護職が訪問している場合は、服薬状況や残薬状況を医師や薬局に情報提供してもらう

その他 多職種研修会 医療と介護がつながる会

平成30年度 第13回
医療と介護がつながる会
 ◆毎月第3金曜日に研修会を行います◆
 ◆現場でお困りのことを是非ご相談ください◆

日時：平成30年6月13日（金）18：30～20：00

地区	テーマ	開催場所（研修担当施設）
1-2地区	「今できるお口の健康方法」 講師：歯科衛生士	宝塚市立井町10-30 TEL：0797-73-0880 FAX：0797-73-
3-6地区	「これだけは押さえておきたい薬の『く』」 講師：薬剤師	宝塚市立中央図書館 宝塚市弥生町2-2 TEL：0797-85-3656 FAX：0797-85-3562
7地区	「スキンケアの『3』」 「ホシジョニク」の『ほ』」 講師：皮膚・排泄ケア認定看護師	宝塚市大原野字南六虫1-253 TEL：0797-83-5010 FAX：0797-83-5011

- ◆市内7地区を3つの地区に分けて開催しています。
- ◆参加費は無料です。
- ◆申込みは裏面の申込用紙に必要事項をご記入の上、研修担当施設まで直接FAXをお送りくださいますようお願い致します。
- ◆申込みをしていなくても当日参加は可能です。
- ◆各施設とも駐車場に限りがありますので、各公共交通機関のご利用及びお車を乗り合わせてお越しくださいますようお願い致します。

共催 宝塚市

宝塚市介護保険事業者協会

宝塚市社会福祉法人連絡協議会

宝塚市地域包括ケアシステム研究会 ～3つの若葉を育てる会～

3つの若葉を育てる会ホームページ： <http://wakabanokaik>



わくわくセミナーって何？
 2017年にスタートした在宅介護に関わる方々を対象にしたセミナーです。
 昨年度は全5回行い、たくさんの方に参加いただきました。
 今年は内容を充実させて更にパワーアップしたセミナーを行います。
 宝塚での地域包括ケアシステム構築へ向けて、みんなで力を合わせましょう！

～研修予定～
 第1回 平成31年4月10日 西公民館 19：00～20：30
 「在宅での口腔ケアと栄養管理①」講師：吉川 周志 歯科医師
 第2回 平成31年6月12日 西公民館 19：00～20：30
 「在宅での口腔ケアと栄養管理②」講師：河内 清美 管理栄養士
 第3回 平成31年10月9日 東公民館 19：00～20：30
 「介護士のための腰痛予防と付き合い方」講師：理学療法士
 第4回 平成31年 12月11日 中央公民館 19：00～20：30
 「在宅での服薬指導」講師：薬剤師
 第5回 平成31年 2月12日 ケアヴィラ宝塚 19：00～20：30
 「認知症と現場での対応」講師：認知症介護指導者

- ・介護職員・在宅介護に関わる多職種向け研修会
- ・介護施設での出張講演
令和元年度毎月開催
(現在中止・開催計画中)
- ・在宅での服薬指導
- ・薬の基礎知識

その他 医薬品適正使用のための研修会

宝塚市薬剤師会 つながる薬局プロジェクト
介護職に教えよう！

正しくぬり隊 認定薬剤師研修会

宝塚市薬剤師会では、介護職向けに外用薬の正しい使い方を指導できる薬剤師の育成を目指し、
「正しくぬり隊 認定薬剤師 育成プログラム」を新たに開始することとなりました。
さまざまなタイプの外用薬についての正しい知識、主に軟膏の塗り方を介護職に情報提供します。
受講された方には認定証をお渡し、介護施設等から講師依頼があれば認定薬剤師を派遣します。

日時：令和4年7月9日（土）15:00～16:00
場所：宝塚市立男女共同参画センター 学習交流室 1
阪急宝塚駅下車すぐ 宝塚市栄町 2-1-2 ソリオ2・4階

『軟膏の塗り方』（サンプルを用いて実演します）

宝塚市薬剤師会 堀切智子先生 他

- 7月9日(土)午後開催
- 薬剤師17名参加
- 介護職向けに外用薬の正しい使用方法を指導できる薬剤師を育成するため開催
- 誤った塗り方によるステロイドの長期使用を防ぐ
- 次年度より本格開催予定



市民向け医薬品適正使用のための研修会

宝塚市高齢福祉課主催

いきいき百歳体操にて出張講演 令和元年度10回

- 正しい薬の飲み方、お薬手帳、かかりつけ薬局について 他

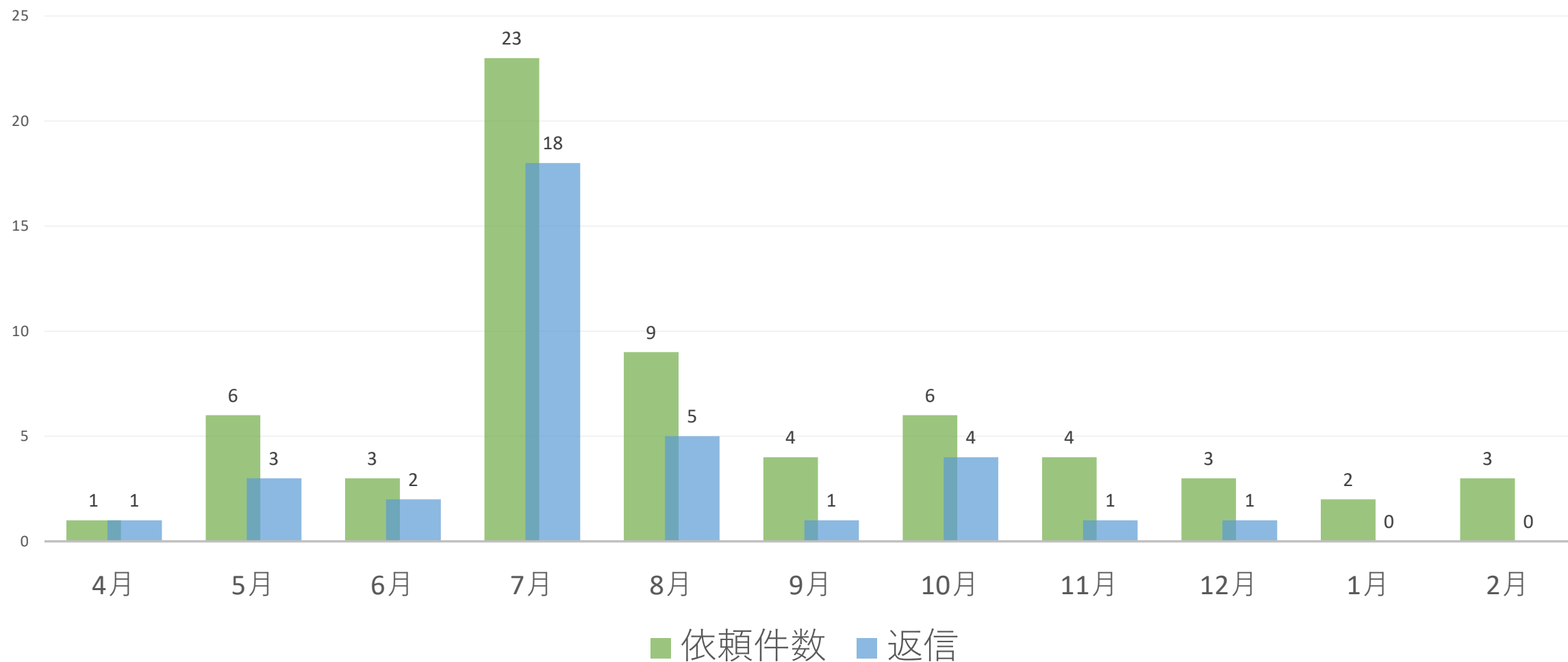


H31.3.26 山本文化会館



R4.7.20 旭町会館

入院時服用薬剤調整・情報提供依頼書



薬局アンケート

令和5年4月実施

対象：市内処方せん応需保険薬局
（会員薬局）

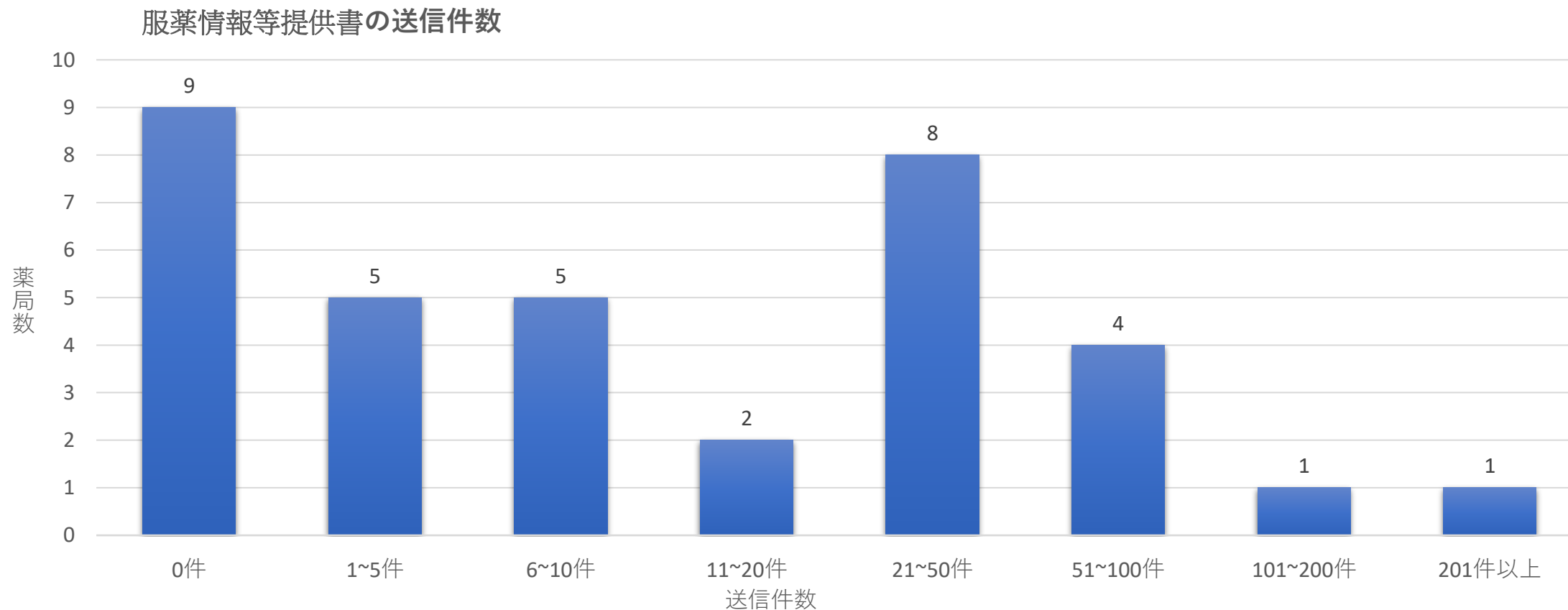
対象データ：昨年度について
（令和4年4月～令和5年3月）

回答数：35軒

服薬情報等提供書の送信件数（医療機関への情報提供）	件
服薬情報等提供料1（30点）の算定件数	件
かかりつけ薬剤師の条件を満たしている薬剤師数	人
かかりつけ薬剤師指導料を算定している患者数（実人数）	人
処方提案を行った件数	件
処方提案を行った件数のうち処方変更となった件数	件
重複投薬・相互作用防止加算の算定を行った件数	件
外来服薬支援料の算定を行った件数	件
服用薬剤調整支援料1（125点）の算定件数	件
服用薬剤調整支援料2（100点）の算定件数	件

服薬情報等提供書送信件数

今年度（令和4年4月～令和5年3月）について 回答数：35軒

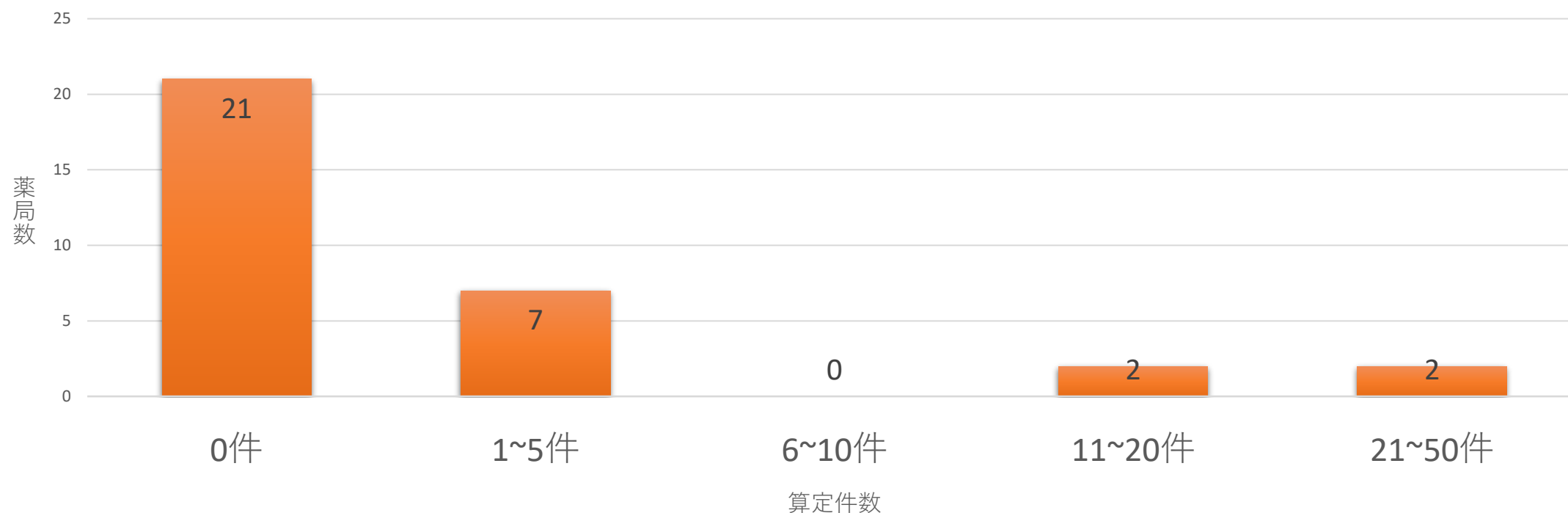


服薬情報等提供料1の算定件数

今年度（令和4年4月～令和5年3月）について 回答数：35軒

・服薬情報等提供料1 30点（保険医療機関から情報提供の求めがあった場合に算定・月1回）

服薬情報等提供料1（30点）の算定件数



服薬情報等提供書の変化（R3年度vs.R4年度）

- 0件が24件→9件に減少したことは、本取組みにより保険薬局の裾野が広がったことを意味する
- 全体的に件数が減少するも、これは市立病院との協議から、より内容に質向上が求められたためと推察する
- 曖昧な情報提供が淘汰されたものと推察する

服薬情報等提供料1の変化（R3年度vs.R4年度）

- 0件が51件→21件に減少したことは、本取組みによって、より保険薬局の裾野が広がったことを意味する
- 全体的に件数が減少するも、市立病院との協議から、より薬学的意義のあるものへと変化したためと推察する

服薬情報等提供料3の変化（R3年度vs.R4年度）

- R3年度：0件→R4年度：36件に増加（術前中止薬の指導）
- R4年度：56.3%（返信36件/病院からの依頼64件）
- 入院延期件数：R3年度0件→R4年度0件（プレアボイド11件）
（R2年度1件、R1年度2件、H30年度7件）

宝塚市立病院 医療安全対策室 入院費減免データより、薬剤による入院延期件数

**保険薬局からの抗凝固剤等の休薬に関する再指導により、
薬剤不適切使用による入院延期を回避できた可能性あり**

5.入院時情報提供書の好事例

①病院薬剤師一かかりつけ薬局との連携

患者A 尿管鏡手術目的入院

病院薬剤師 → 薬局へ薬剤整理依頼

入院前に開業医と協議の上、薬局が薬剤整理

オロパタジン → 中止

リオベルLD配合錠 → テネリアへ変更

サプリメント → 中止

(ノコギリヤシ・睡眠サプリ・ロコモアなど)

病院からの入院時薬剤情報提供書の依頼があれば、保険薬局側から薬剤整理を積極的に実施する運用であるが、実際には病院側からの具体的な依頼があれば保険薬局でも対応可能であることが判った。

②在宅医療における多職種連携の好事例

●薬の管理ができない在宅患者

複数の医療機関から処方されていた薬を医師と相談し、

→ 去痰剤等、5剤減薬・吸入薬変更

また吸入薬がうまく吸えていない可能性が高いことがわかり、
薬剤師の訪問日以外も職種総動員で練習用キットを使用し

上手く音が鳴れば褒めちぎる → 患者に自信を付けさせる

→ 毎日の吸入達成 → 症状改善

→ メプチンエアーの吸入回数

1日10回から1日2回へと激減



87歳 男性

COPD・気管支喘息・前立腺癌術後膀胱痿留置・
加齢性黄斑変性症・甲状腺機能障害

- ①チラーヂンS50 μ g 朝
- ②~~アンブロキシール徐放45mg~~ → 夕
- ③ラフチジン10mg2錠 朝夕
- ④テオフィリン徐放200mg2錠 朝寝る前
- ⑤~~カルボシステイン500mg2錠~~ 朝夕
- ⑥~~ブロムヘキシン3錠~~ 朝昼夕
- ⑦~~タフマックE30~~ 朝昼夕
- ⑧レスブレン30mg3錠 朝昼夕
- ⑨~~コロネル500mg3錠~~ 朝昼夕
- ⑩ミヤBM錠3錠 朝昼夕
- ⑪~~スプリーバ吸入~~ 朝2吸入
- ⑫~~アドエア500~~ 朝1夕1吸入

チラーヂンS50 μ g 朝
タケキャブ10mg 朝
テオフィリン徐放200mg 2錠 朝夕
レスブレン20mg 2錠 朝~~昼~~夕
ミヤBM錠 2錠 朝~~昼~~夕

~~ピコスルファート2錠 便秘時~~

テルリジー100エリプタ 1吸入／回／日

メプチンエアー10 μ 吸入100回分 発作時

チラーヂンS50 μ g 朝
タケキャブ10mg 朝
テオフィリン徐放200mg 2錠 朝夕
レスブレン20mg 2錠 朝夕
ミヤBM錠 2錠 朝夕
テルリジー100エリプタ 1吸入／回／日
メプチンエアー10 μ 吸入100回分 発作時
モビコール配合内用液LD 2包

91歳 男性

視野が狭い・はっきり見えない・色はわかる
排便コントロールがうまくいかない・便秘だったり出すぎたり

A病

- ①ノルバスクOD2.5mg1錠 朝
タケキャブ10mg1錠 朝
- ②マグミット500mg3錠 朝昼夕 調整服用
- ③アミティーザカプセル24 μ g 2c 分2朝夕
- ④フランドルテープ40mg 朝1枚
- ⑤フスタゾール10mg3錠
ムコソルバン15mg3錠 朝昼夕 } 咳の時

B病院

- ①~~ツムラ牛車腎気丸エキス顆粒7.5g 分3食前~~
- ②バップフォー10mg(プロピペリン塩酸塩)分1夕

C病院

- ①~~ランソプラゾールOD15mg1錠分1朝~~
- ②プラビックス25mg 2錠分1朝
- ③クレストールOD2.5mg1錠分1朝

↑ [redacted] 保険薬局 → 病院・診療所

[redacted] 御中 報告日: [redacted]

服薬情報提供書 (トレーシングレポート)

担当医 [redacted] 下	保険薬局: シンバシ薬局中山店・宝塚市中山寺 1-14-19
患者 ID [redacted]	電話番号: 0797-83-6166
患者名: [redacted]	FAX 番号: 0797-83-6167
	担当薬剤師名: 岡田千鶴 筆

この情報を伝えることに対して患者の同意を 口得た。

処方せんに基づき調剤を行い、薬剤交付致しました。
下記の通り、ご報告致します。ご高配賜りますようお願い申し上げます。

所見:

最近胸焼けがひどく・炭酸ジュースですっきりするらしく三ツ矢サイダーばかり飲
んでいるそうです。

先日 [redacted] 胃酸抑制薬をランソプラゾール⇒タケキャブに変更にな
っています。

薬剤師としての提案事項

牛車腎気丸はジオウ含有量が多いため胃もたれを起こすことがあり、胃
弱の方には、注意が必要です。

ご本人も漢方の服用は少しおつらいようで、残薬18包服用スキップさ
れています。

本人からは、漢方は、効果感じていないので、できれば服用なしにして
ほしいと聞いています。

ご報告させていただきます。宜しいをお願いします。

6. 業務手順書の有効性

■第2章 ポリファーマシー対策の進め方

2. ポリファーマシー対策の実施

2) 入院前

ア) 対象患者をスクリーニングする

イ) 入院前の医療機関等へ情報提供を求める

→を参考に手順書等を作成・実施できた

■様式事例集

様式 03 「持参薬評価テンプレート」

(東京大学医学部附属病院)

→を参考に患者が入院する際に、病院からかかりつけ薬局に伝え、かかりつけ薬局が患者のかかっている他の薬局の情報等を集約して入院時の持参薬等を入院先の病院に提供するという取り組みを実施できた

【効果として】

- 病院における問題患者の拾い上げが可能となった
(病院内では外来看護師の協力で薬剤部へ連絡する運用)
- 手術予定患者に漫然投与されていたせん妄リスク薬を事前に中止し術後も問題なく退院できた
(例：オロパタジン中止)
- 腎機能を考慮した薬剤変更が入院前に可能となった
(アログリプチン/ピオグリダゾン配合LD→テネリグリプチン臭化水素酸塩水和物)

7. 業務手順書の課題の改善策

課題①：「多くの中小病院はポリファーマシー対策への参画に消極的である」

背景：人員や予算が少ないことが主たる原因となるが、本取り組みに関して有益かつ利益性が見込めないと積極的な参加に至らないと考えられる。

改善策：ポリファーマシー対策が地域医療のために必要であることを理解してもらう

具体的な改善対策案

- ・病院の医師・薬剤師、および地域の開業医、薬局薬剤師が合同で薬剤の適正使用に関する研修を定期的に行い、意見交換をできる場を設定する（病院と地域、医師と薬剤師の「顔の見える関係」の構築にも繋がる）
- ・入院時薬剤情報提供書で入院前の服薬情報を病院医師・薬剤師に提供する。また退院時薬剤情報提供書で入院時の薬剤調整内容を地域の開業医・薬局薬剤師に提供する。双方とも医師・薬剤師の両方に送ることで、地域で薬剤情報を「見える化」する

課題②：「患者の帰宅後のアドヒアランスや家族の服薬介助への関わり、医療介護体制（多職種に関わり）を考慮するなど、生活に適応した処方設計することについて記載がない」

背景：ポリファーマシーによる服薬困難事例が多く見られ、残薬問題の原因にもなっている

改善策：地域の多職種によるポリファーマシー対策への共通認識、および参画

具体的な改善対策案

- ・多職種参加のポリファーマシー対策研修、およびグループディスカッション
- ・地域包括支援センターを中心とした地域ケア会議等でのポリファーマシーに関する問題点の話し合い
- ・地域の医師会、薬剤師会。介護支援専門員協会、看護協会、行政等によるポリファーマシー対策の連携会議